

## 平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 県自らの環境保全活動の推進事業 (801)

[評価年月日] 平成12年11月14日

[担当部課名] 環境部 環境政策課

[記入課名 課長名 電話] 環境政策課 課長 伊藤 敬三

TEL 059-224-3109

## 1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : 環境保全活動への参加と協働 ( - 3 )

施策 : 環境を守り育てる活動への参加と協働 ( 2 )

総合計画の目標項目 環境保全率先行動の目標達成率等

波及効果 副次的効果を及ぼすと考えられる施策 :

## 2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状、将来)

県も事業者・消費者としての立場から環境保全への取り組みを率先して実行するため、平成10年3月に「三重県環境保全率先行計画(みえエコフイプラン)」を策定した。

ISO14001の認証を取得する事業所・自治体が増加しており、三重県においては平成12年2月23日付けで本庁舎及び周辺の県機関を対象に認証取得した。また、平成12年度内には、システムの適用範囲を全県民局に拡大する。

平成13年度以降は、試験研究機関、医療機関、教育機関等の一部の機関で取得する予定である。

将来、ISO14001の認証を取得する事業所・自治体が増え、環境保全への取り組みに対する県民の意識がますます高くなる。

## 3 基本事務事業の目的と成果

## 3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

対象は、本庁舎並びに県民局及び属する地域機関、その管理する庁舎及び付属施設。

意図は、ISO14001の認証取得をし、県機関の業務活動に伴う環境への負荷を低減するとともに、率先して取得することにより、管内市町村や企業の認証取得を促進し、地域における環境保全意識の高揚と環境に配慮したライフスタイルへの転換を図る。

## 3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には\*を付す)

成果指標 環境保全目標達成度

$$\text{成果指標式} = \frac{\text{ISO 環境目標達成数}}{\text{ISO 環境目標項目数}} \times 0.5 + \frac{\text{エコフイプラン目標達成数}}{\text{エコフイプラン目標項目数}} \times 0.5$$

変更した場合の成果指標名・成果指標式

成果指標 モデル機関としての認証取得する機関数

成果指標式 モデル機関として認証取得する機関数

本庁システムの認証範囲に含まれない県機関のISO14001規格の認証分野数

## 3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

平成12年度までにISO14001の認証取得機関に含まれない45機関の業務を、一般事務機関、試験研究機関、教育機関、医療機関、社会的サービス機関、警察、消防の7分野に大別し、一般行政事務以外の6分野のモデル的な機関で認証取得を目指す。

これは、試験研究機関、教育機関、医療機関等にもISO14001を導入し、環境に配慮した取り組みを一層進めていくことを目指していくことであるため、指標としても有効である。

## 3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

県庁舎における環境負荷の低減及び職員の意識改革並びに地域における環境保全への意識の高揚

## 4 基本事務事業の評価

## 4-(1) 前年度(11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

環境政策課長

・みえエコフイプランの重点的取り組み事項における9項目の数値目標のうち、冷暖房用等燃料使用量、水使用量、古紙配合率、用紙使用量、両面コピー率、低公害車、廃棄物発生量の7項目で目標を達成した。電気使用量、公用車の燃料使用量は、それぞれ6.9、3.6%の削減に止まった。

・一方、本庁舎を対象にした ISO14001 の環境目的・目標のうち数値目標のある電力使用量の削減、水使用量の削減、廃棄物の削減、用紙の削減、冷暖房用燃料の削減、一般公用車燃料の削減、消耗品総額の削減の 7 項目はすべて達成した。中でも廃棄物の削減、用紙の削減はそれぞれ 31.0、34.2 % の削減と目標を大幅に達成した。

#### 前年度に残った課題

環境政策課長

- ・全県民局へ ISO14001 の認証取得を拡大することにより、みえエコフィス<sup>®</sup>の電気使用量及び公用車の燃料使用量の目標達成に向け一層の取り組みを強化する必要がある。
- ・電力の使用量については、全職員へのパソコンの配布などの増加要因が多いことから、その取り組みをさらに徹底する必要がある。
- ・ISO14001 の環境目的・目標のうち、水使用量の削減、廃棄物の削減、用紙の削減については、大幅に目標を達成できる見込みであることから、上積みを検討する。

---

#### 4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

##### 本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

環境政策課長

- ・ISO14001 については、本庁の環境目的・目標に、オフィス活動 9 項目、施設管理 4 項目、事務事業 2 項目を掲げ、取り組みを進めてきた。特に数値目標のある環境目的・目標は既に達成済みであることから、一層の上積みを目指す。
- ・県民局についても、本庁と同レベルの目標値を設定することにより順次取り組みを強化し、みえエコフィス<sup>®</sup>の重点的取り組み事項の数値目標達成を目指す。
- ・また、関係部局と連携し、みえグリーン購入指針の徹底を図るとともに、みえグリーン購入ネットワークの構築を目指していく。
- ・県民、市民団体等から県に対して参加要請のあった環境保全活動等に参加し、県民等とタイアップして環境県民運動を推進する。

管財営繕課長

- ・平成 12 年11月よりペーパーリサイクルシステムを、地域総合庁舎に拡げ公文書の処理を本庁の大型シュレッダーで集約して行うこととし、本庁舎と同様にコピー用紙はコピー用紙に、その他紙類は衛生紙にリサイクルすることとした。

これにより全庁的な紙類のリサイクルの推進に向けて、積極的な取組が図られる。

##### 本年度残ると思われる課題

環境政策課長

- ・本庁・県民局では、ISO のシステムが構築されるが、試験研究機関、教育機関、医療機関等は未取得であることから、みえエコフィス<sup>®</sup>に対する取り組みの遅れが懸念される。

13 年度以降は、一部機関で ISO14001 を先行的に認証取得し、環境負荷低減を目指す取り組みを他機関へ普及させる必要がある。

管財営繕課長

- ・ペーパーリサイクルシステムを現在の本庁舎及び地域総合庁舎だけでなく、県立学校やその他の県有施設に拡げ、県庁全体で紙類のリサイクルに取り組むシステムの構築が必要である。さらに、乾電池等紙類以外のリサイクルにも取り組んでいくことが必要である。

---

#### 5 基本事務事業の改革方向

環境政策課長

- ・県庁舎における環境負荷の低減を図り、みえエコフィス<sup>®</sup>で位置付けられた数値目標を達成するため、また第 3 者の認証を得ることにより県民からの信頼が高まり、職員の意識改革に伴う地域における環境保全への意識の高揚を図るため、システムの維持管理を図り、環境目的・目標をバージョンアップする必要がある。

また試験研究機関、教育機関、医療機関等の一部にも ISO14001 を拡大し、導入効果を検討のうえ他の機関への導入を図っていきたい。

- ・環境負荷の一層の低減を図るため、ペーパーリサイクルシステムの充実、みえ・グリーン購入指針等に基づく事業を展開する必要がある。

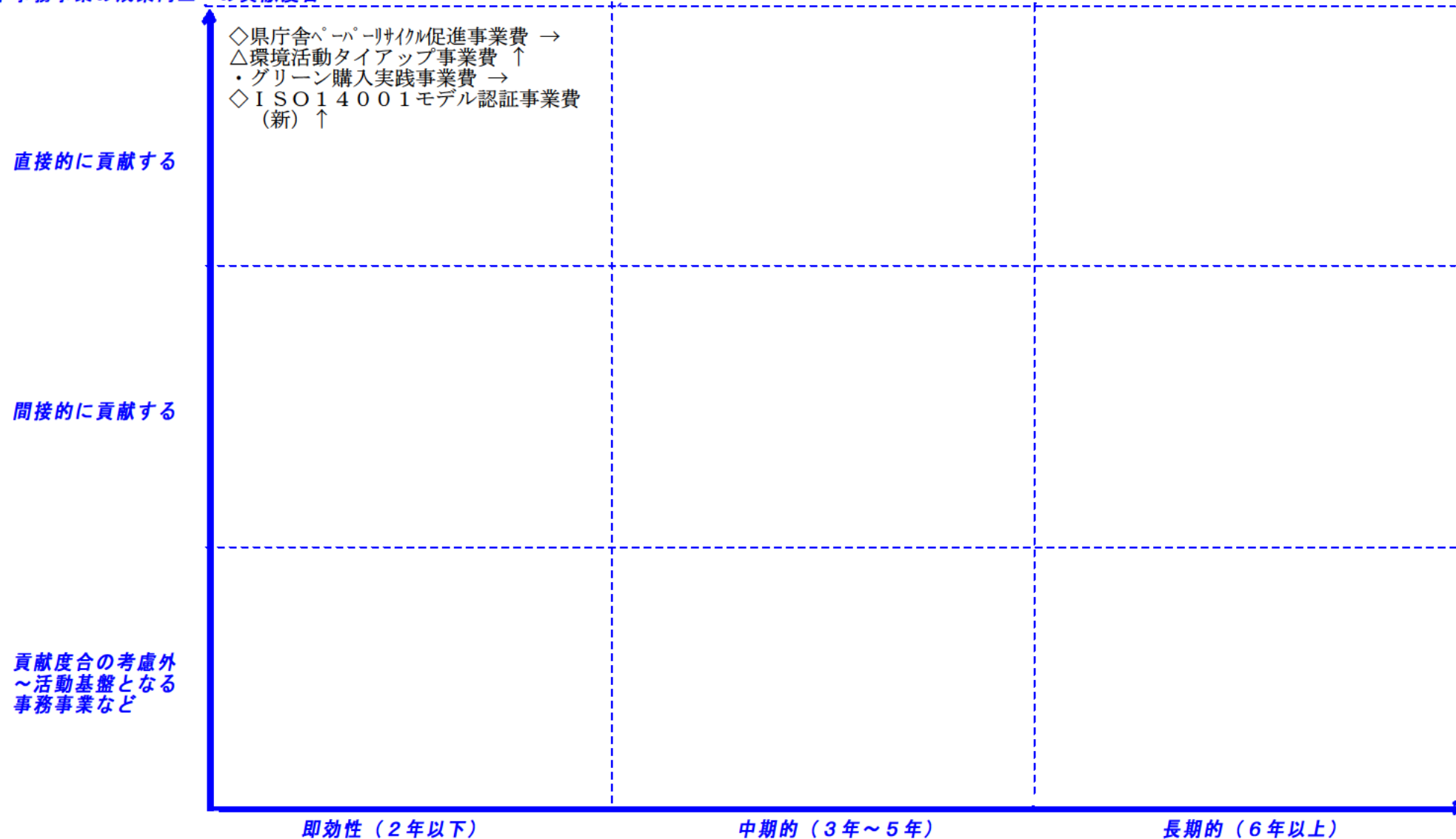
## 6 成果指標値及びコスト等の推移

|                   | 成果指標値          |         | 総合計画<br>目標数値 | 予算額等(千円)<br>所要時間(時間) |  | 必要概算<br>コスト(千円) |
|-------------------|----------------|---------|--------------|----------------------|--|-----------------|
|                   | 目標             | 実績      |              |                      |  |                 |
| 前々年度<br>(H10年度)   | 9              | 4       | ——           | 13,453<br>6,170      |  | 39,244          |
| 前年度<br>(H11年度)    | I1 9<br>ISO 15 | 5<br>15 | ——           | 40,108<br>18,332     |  | 116,186         |
| 本年度<br>(H12年度)    | I1 9<br>ISO 15 | 7<br>15 | ——           | 49,057<br>21,672     |  | 139,863         |
| 本年度補正後<br>(H12年度) | 同上             | 同上      | ——           | +1,694<br>± 0        |  | 1,694           |
| 翌年度<br>(H13年度)    | I1 9<br>ISO 15 | ——      | ——           | 69,773<br>16,240     |  | 137,819         |
| 計画目標年次<br>(H13年度) | I1 9<br>ISO 15 | ——      | ——           | ——                   |  | ——              |

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: ProjectPortfolioMatrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 \*休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

※ 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]